

学生教育における病理組織スケッチの 有効性に関する観察研究

1. 研究の対象

2018年4月1日から2025年3月31日までに、秋田大学医学部の2年次講義「原因と病態II」において病理学実習を受講した学生です。

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、病理学教育において実施されている「病理組織スケッチ」が学生の学習成果や知識定着にどのような影響を与えているかを明らかにすることです。近年、病理学教育ではデジタル教材の普及が進んでいますが、スケッチは形態の観察や整理、記憶の強化など教育的意義が指摘されており、その有効性を科学的に検証する必要があります。本研究では、2018年度から2024年度までに秋田大学医学部2年次講義「原因と病態II」を受講した学生約を対象とし、過去に提出されたスケッチ記録、形成試験の成績、学習態度や自己評価に関するアンケート結果などを用います。これらのデータを統計的に解析し、スケッチの実施状況と学習成果との関連性を評価することで、効果的な教育手法としての位置づけを検討します。得られた知見は、今後の教育プログラムの改善に資することが期待されます。

研究実施期間：研究実施許可日～2028年3月31日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2025年11月27日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・スケッチの記録、点数
- ・形成試験の点数
- ・アンケート結果

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて学生さんにご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも学生さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

秋田大学大学院医学系研究科 器官病態学講座

助教 小山 慧（研究責任者）

〒010-8543 秋田市本道 1 丁目 1-1

電話：018-884-6064

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽渕 友則